

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘要
【下水道局】				
新 1 汚泥固形燃料化施設 建設工事		45,000 { 国庫 22,500 負担金 11,250 企業債 11,000 繰入金 250	45,000 { 国庫 22,500 負担金 11,250 企業債 11,000 繰入金 250	新河岸川水循環センターにおいて、老朽化した焼却炉の更新に合わせ、汚泥固形燃料化施設を設置する。 平成23年度事業（詳細設計） 4,500万円 ＜事業概要＞ ・工期 平成23年度～平成26年度 ・構築物 新河岸川水循環センター汚泥固形燃料化施設 ・総事業費 70億円 (うち、県負担額 11億7,041万7千円) ＜導入効果＞ ・温室効果ガスを年1.5万トン削減 (ブナ林3,260ha相当の吸収量) ・汚泥を固形燃料化し、有価物として売却 (石炭利用事業所、県内事業所(事業用ボイラー)) ＜期間＞ 平成24年度～平成26年度 ＜事業計画＞ 平成23年度 公告、入札 平成23年度 設計、工事 ～ 26年度
【審査の考え方】 環境負荷の軽減と汚泥の有効活用が見込まれることから、要求額を措置するとともに、債務負担行為の設定を承認した。				
(債務負担行為)		限度額 6,955,000 { 国庫 4,636,666 負担金 1,159,167 企業債 1,159,000 繰入金 167	承認	

下水道局